

平成 18 年 11 月 13 日

各 位

株式会社インターネット総合研究所  
代表取締役所長 藤原 洋  
東京証券取引所 マザーズ 4741

**平成 19 年 6 月期第 1 四半期連結決算、  
IP エンタープライジング事業の好調により前年同期比増加  
~売上高 168 億 37 百万円、経常利益 12 億 03 百万円~**

株式会社インターネット総合研究所（本社：東京都新宿区、代表取締役所長：藤原 洋）の平成 19 年 6 月期第 1 四半期（平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）の連結決算をお知らせいたします。

当第 1 四半期においては、サーバー株式会社（サーバー）とグローバルナレッジネットワーク株式会社（グローバルナレッジ）を新たに当社グループ化し、当社本体においてもディペンダブルネットワーク研究所とネットワーク社会基盤事業部を新設し、グループ子会社、本体の経営強化を図る最初のフェーズを迎えました。

IP ネットワーク事業においては、株式会社プロデュース・オン・デマンド（PoD）のストリーミング配信事業、株式会社 IRI コマース&テクノロジー（IRI-CT）のメディア事業等が、それぞれ前年同期を上回る業績を達成しました。IP プラットフォーム事業においては、株式会社 IRI コピテック（IRI コピテック）が自社開発したフルスペックハイビジョン映像モジュール「UBIRIS（ユピリス）」の受注が好調に推移いたしました。IP エンタープライジング事業においては、地理情報システム技術を核として情報系システムの企画・設計・開発事業を営む株式会社アイ・エクス・アイ（IXI）が、得意分野である物流分野において好調に受注を獲得し、前年同期に比べ業績を伸ばしました。また、当事業年度より、従来「その他事業」の中で括り付けしておりました IP シナジーファイナンス事業については、中間連結財務諸表規則に則り、単独セグメントで区分いたしました。IP シナジーファイナンス事業においては、IP 技術を核としてグループとのシナジーの期待できる企業を対象に、当第 1 四半期は主に国内の IT 企業の投資活動に伴う調査等を進めてまいりました。

以上の結果、当社の連結売上高は、IXI を中核とする IP エンタープライジング事業が牽引し、168 億 37 百万円（前年同期比 26.2%増加）となりました。連結営業利益は、グループ各社の売上高増による増加や利益率改善効果があったものの、株式会社 IRI ファイナンスアンドテクノロジー（IRI-FT）における投資関連費用の増加や、前述のサーバー、グローバルナレッジの取得に伴う暖簾代の発生等により、4 億 17 百万円（前年同期比 18.8%減少）となりました。連結経常利益は、持分法適用関連会社の株式会社ブロードバンドタワー（BBTower）において、顧客のデータセンターサービス解約における解約金を特別利益として計上したことにより、持分法による投資利益が営業外収益として発生したため、1,203 百万円（前年同期比 332.1%増加）となりました。連結当期純利益は、前年同期に比べ大きな特別利益・特別損失はなく、415 百万円（前年同期当期純損失 1,222 百万円）となりました。

平成 19 年 6 月期の通期連結業績見込みにつきましては、前回公表（平成 18 年 10 月 10 日付）いたしました業績見込みをそのまま据え置き、売上高 605 億円、営業利益 27 億円、経常利益 30 億円、当期純利益 6 億円を見込んでおります。

以 上

本件に関するお問合せ

株式会社インターネット総合研究所 所長室 広報・IR 担当  
TEL:03-5908-0711 FAX:03-5908-0719